



# 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 エヌアイシ・オートテック株式会社  
コード番号 5742 URL <http://www.nic-inc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 西川浩司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 藤井透

TEL 076-425-0738

四半期報告書提出予定日 平成29年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	5,905	37.0	563	64.5	557	62.8	359	64.2
28年3月期第3四半期	4,309	—	342	—	342	—	218	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 406百万円 (116.9%) 28年3月期第3四半期 187百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	65.98	—
28年3月期第3四半期	40.17	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	6,849	3,944	57.6
28年3月期	5,690	3,663	64.4

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 3,944百万円 28年3月期 3,663百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	23.00	23.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,743	25.4	677	20.2	673	19.1	422	16.3	77.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	5,500,000 株	28年3月期	5,500,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	51,241 株	28年3月期	51,241 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	5,448,759 株	28年3月期3Q	5,448,765 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢が緩やかな回復基調で推移したものの、アジア新興国等における景気減速や英国のEU離脱問題、さらには米国大統領選挙の結果の影響等、外部環境については先行き不透明な状態で推移いたしました。

このような状況のもと当社グループは、FA装置（FA：Factory Automation/「自動化・省力化装置」をいう。）及びロボット関連機器等にも使用される当社主力製品「アルファフレームシステム」の大口案件の受注を順調に確保し、また、国内外の自動車部品製造企業向け洗浄装置や検査装置等、さらに、有機ELやLCDといったフラットパネルディスプレイ（以下、「FPD」という。）製造企業向けの大型カスタムクリーンブース等につきましては、当社グループの技術力を活かした提案型営業活動を展開して順調に売上高を伸ばしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、5,905百万円と前年同四半期と比べ1,596百万円（37.0%）の増収、営業利益は、563百万円と前年同四半期と比べ220百万円（64.5%）の増益、経常利益は557百万円と前年同四半期と比べ215百万円（62.8%）の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、359百万円と前年同四半期と比べ140百万円（64.2%）の増益となりました。

当社グループは、2016（平成28）年度から2020（平成32）年度までの5カ年を期間とする中長期経営計画において、その最終連結会計年度における売上高・事業の規模を倍増する計画を掲げております。

この計画に基づき、当社グループでは、当連結会計年度を「倍増計画元年」と位置づけ、当社が株式を上場して以来、最大となる大型設備投資を計画いたしました。その第1弾として平成28年8月には海外子会社への増資を実施し、第2弾として新工場（名称：立山事業所）の建設を決定し、平成28年8月に工場用地を取得するとともに、同年11月より建設工事に着工いたしました。また、社内での生産効率を高めるべく、立山工場及び流杉工場における業務システムや既存設備を更新するとともに、新規機械設備の導入等にも取り組んでおります。

なお、国内の少子化・残業時間の規制等による労働力不足や、新興国の労働賃金上昇等の問題によって、国内外ともに各種生産・製造工場での自動化の波は、今後さらに高まることが見込まれております。このような状況のもと当社グループとしては、FA装置等の事業は成長産業と捉えており、新設する立山事業所をFA装置等のさらなる受注拡大を目指す重要な拠点と位置づけることとしております。

このように当社グループは、社内設備の増強及び技術者の雇用拡充を図り、業容拡大に向けて積極的な投資を推進しております。

セグメント別の業績を示しますと、次のとおりであります。

#### [アルファフレーム部門]

アルファフレーム部門におきましては、「カクチャ<sup>™</sup>」及び「マーキングシステム<sup>™</sup>」を活用し、アルミニウム合金製構造材の付加価値を高めることで、競合他社と差別化を図った提案営業を継続的に展開いたしました。

継続的に受注を確保しているFA装置等に使用される「アルファフレームシステム」の大口案件については、主要顧客での受注が増加したことに伴い、大幅な増加となりました。

また、一般の材料・部品としての販売も好調に推移し、特に大型の特注クリーンブースなど設計サポートサービス「カクチャ<sup>™</sup>」を活用できる案件の受注が増加いたしました。なお、これらの案件は当第4四半期以降も順調に売上高が推移するものと見込んでおります。

この結果、当部門の売上高は3,451百万円（前年同四半期比173.1%）となりました。

#### [装置部門]

装置部門におきましては、引き続き当社の技術力を活かした質の高いFA装置の提案活動を推進いたしました。

自動車部品製造企業向け設備としては、洗浄、検査等の単体設備として安定した受注を確保いたしました。またFPD業界向けクリーンブース案件及び特殊仕様の構造物案件については、予測より好調に推移いたしました。

この結果、当部門の売上高は1,642百万円（前年同四半期比103.2%）となりました。

#### [商事部門]

商事部門におきましては、工業用砥石、油脂類等の消耗品関係が期初よりやや低迷した状態が続いておりますが、機械設備関係の受注につきましては順調に推移し、また、工具・ツール関係におきましても受注が伸長し、部門全体としては前年同四半期を上回る売上高となりました。

この結果、当部門の売上高は811百万円（前年同四半期比112.3%）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産・負債・純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前期末と比べ1,158百万円増加し、6,849百万円となりました。これは主に、現金及び預金が222百万円、受取手形及び売掛金が598百万円、仕掛品が139百万円、土地が78百万円、投資有価証券が53百万円、それぞれ増加したことなどによります。

負債は、前期末と比べ876百万円増加し、2,904百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が121百万円、電子記録債務が317百万円、短期借入金が200百万円、賞与引当金が75百万円、それぞれ増加したことなどによります。

純資産は、前期末と比べ281百万円増加し、3,944百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上359百万円があった一方で、配当金の支払い125百万円があったことにより、利益剰余金が234百万円増加したことや、その他有価証券評価差額金が34百万円増加したことなどによります。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前期末と比べ222百万円増加し、475百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の346百万円のキャッシュ・インに対し、292百万円のキャッシュ・インとなりました。これは税金等調整前四半期純利益の計上による資金の増加557百万円や仕入債務の増加による資金の増加439百万円などの資金の増加があった一方で、売上債権の増加による資金の減少559百万円やたな卸資産の増加による資金の減少196百万円、並びに法人税等の支払いによる資金の減少235百万円があったことなどが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の102百万円のキャッシュ・アウトに対し、147百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは有形固定資産の取得による支出が137百万円、無形固定資産の取得による支出が5百万円あったことなどが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の108百万円のキャッシュ・アウトに対し、75百万円のキャッシュ・インとなりました。これは短期借入金の純増額が200百万円あった一方で、配当金の支払いによる支出が124百万円あったことが要因であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成29年1月20日付の「平成29年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、各セグメントの売上高は順調に推移しております。よって、現時点での業績予想に変更はございませんが、今後の経営環境や業績動向等により、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに公表いたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当該変更による当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。

### (4) 追加情報

#### (繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	252,781	475,159
受取手形及び売掛金	1,793,240	2,391,890
電子記録債権	720,337	698,443
商品及び製品	150,466	201,646
仕掛品	311,781	451,084
原材料及び貯蔵品	315,916	322,621
その他	57,622	78,706
貸倒引当金	△252	△313
流動資産合計	3,601,894	4,619,240
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,863,409	1,870,558
減価償却累計額	△1,125,291	△1,159,278
建物及び構築物(純額)	738,118	711,280
土地	456,904	535,874
その他	728,634	779,210
減価償却累計額	△456,033	△501,490
その他(純額)	272,601	277,720
有形固定資産合計	1,467,624	1,524,875
無形固定資産		
その他	19,576	58,403
無形固定資産合計	19,576	58,403
投資その他の資産		
その他	603,473	648,368
貸倒引当金	△1,731	△1,731
投資その他の資産合計	601,742	646,637
固定資産合計	2,088,943	2,229,915
資産合計	5,690,837	6,849,156

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	863,667	985,002
電子記録債務	577,924	895,621
短期借入金	-	200,000
未払法人税等	136,587	138,442
賞与引当金	60,323	136,138
製品保証引当金	479	448
その他	139,678	254,552
流動負債合計	1,778,660	2,610,206
固定負債		
退職給付に係る負債	172,726	190,461
その他	76,423	103,847
固定負債合計	249,150	294,308
負債合計	2,027,810	2,904,514
純資産の部		
株主資本		
資本金	156,100	156,100
資本剰余金	146,100	145,608
利益剰余金	3,355,916	3,590,135
自己株式	△34,467	△34,467
株主資本合計	3,623,649	3,857,377
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,196	76,876
為替換算調整勘定	△2,818	9,897
その他の包括利益累計額合計	39,377	86,773
非支配株主持分	-	491
純資産合計	3,663,026	3,944,641
負債純資産合計	5,690,837	6,849,156



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	4,309,194	5,905,628
売上原価	3,250,262	4,468,663
売上総利益	1,058,931	1,436,965
販売費及び一般管理費	716,551	873,688
営業利益	342,379	563,276
営業外収益		
仕入割引	3,166	4,175
受取保険料	—	700
その他	1,557	783
営業外収益合計	4,724	5,658
営業外費用		
支払利息	—	331
手形売却損	422	113
電子記録債権売却損	434	477
為替差損	3,774	9,609
その他	33	911
営業外費用合計	4,664	11,444
経常利益	342,439	557,491
税金等調整前四半期純利益	342,439	557,491
法人税、住民税及び事業税	116,176	226,125
法人税等調整額	7,583	△28,139
法人税等合計	123,759	197,985
四半期純利益	218,680	359,505
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△228	△14
親会社株主に帰属する四半期純利益	218,908	359,519

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	218,680	359,505
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,161	34,679
為替換算調整勘定	△2,873	12,751
その他の包括利益合計	△31,034	47,430
四半期包括利益	187,645	406,936
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	187,902	406,936
非支配株主に係る四半期包括利益	△257	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	342,439	557,491
減価償却費	78,089	97,395
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△48	61
賞与引当金の増減額(△は減少)	△25,267	75,815
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,536	17,734
製品保証引当金の増減額(△は減少)	823	△31
受取利息及び受取配当金	△391	△446
支払利息及び手形売却損	856	922
売上債権の増減額(△は増加)	408,243	△559,768
たな卸資産の増減額(△は増加)	△215,366	△196,639
仕入債務の増減額(△は減少)	14,402	439,031
未払消費税等の増減額(△は減少)	△82,349	14,646
為替差損益(△は益)	3,301	6,602
その他	△23,909	74,997
小計	507,357	527,814
利息及び配当金の受取額	207	268
利息の支払額	△856	△922
法人税等の支払額	△160,466	△235,057
営業活動によるキャッシュ・フロー	346,242	292,102
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△78,006	△137,755
無形固定資産の取得による支出	△3,870	△5,778
投資有価証券の取得による支出	△3,600	△3,600
保険積立金の積立による支出	△17,263	-
その他	726	△820
投資活動によるキャッシュ・フロー	△102,012	△147,954
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△28	-
配当金の支払額	△108,568	△124,984
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	200,000
非支配株主からの払込みによる収入	373	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△108,224	75,015
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,765	3,214
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	132,240	222,378
現金及び現金同等物の期首残高	262,243	252,781
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	6,845	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	401,329	475,159

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

##### (1) 生産、受注及び販売の状況

###### ① 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	生産高 (千円)	前年同四半期比 (%)
アルファフレーム部門	3,464,710	172.5
装置部門	1,642,158	103.2
合計	5,106,869	141.9

(注) 上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

###### ② 商品仕入実績

当第3四半期連結累計期間における商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	品目	仕入高 (千円)	前年同四半期比 (%)
商事部門	工業用砥石	98,358	85.7
	機械設備	263,774	108.9
	工具・ツール・油脂類	325,353	121.8
合計		687,485	110.1

(注) 上記の金額は仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

###### ③ 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
アルファフレーム部門	4,225,906	205.6	1,508,934	782.1
装置部門	1,662,089	123.4	348,466	70.6
商事部門	774,075	116.0	145,536	100.9
合計	6,662,072	163.7	2,002,937	241.2

(注) 上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

###### ④ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
アルファフレーム部門	3,451,781	173.1
装置部門	1,642,158	103.2
商事部門	811,688	112.3
合計	5,905,628	137.0

(注) 1. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	当第3四半期連結累計期間		
	販売高 (千円)	割合 (%)	前年同四半期比 (%)
キャノン株式会社	2,034,701	34.5	223.5

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。